



この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
この自転車用イベント レーススタンドは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。

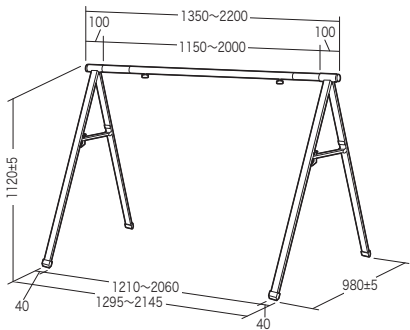
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

完成図

※この製品は組立て方法によって下図の様に2通りの使い方ができます。
用途に合わせて組立ててください。

A フレームの内側だけに自転車を掛ける場合

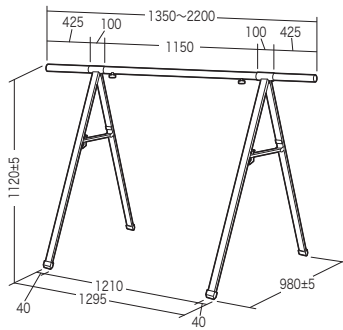


最大耐荷重 約50kg

※最大5台まで対応しています。

※クロスバイクなどフラットなタイプのハンドルはフレームに当たる場合があります。

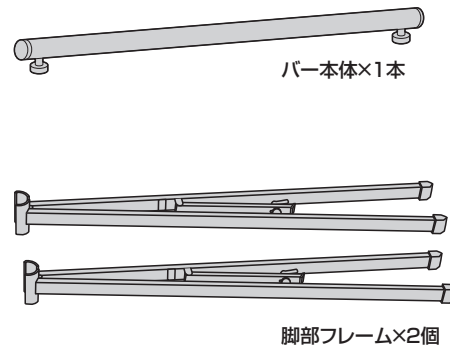
B フレームの外側にも自転車を掛ける場合



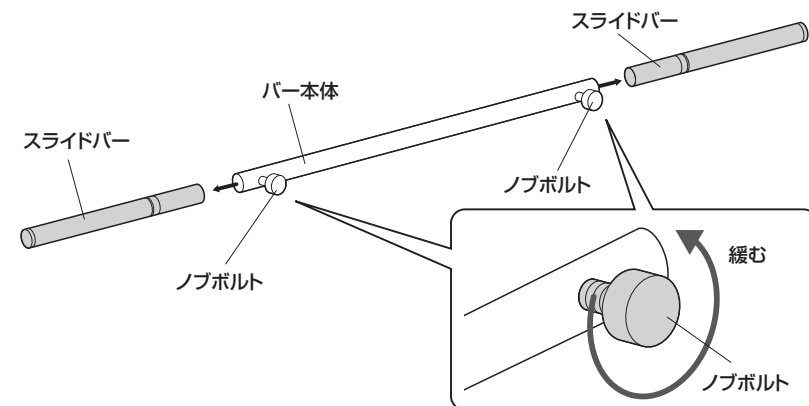
※上記のどちらにするかによって、組立て手順 ②③が異なります。

※組立て手順 ①④は共通です。

組立て部品



1 バー本体のノブボルトを緩めて、スライドバーを取外します。

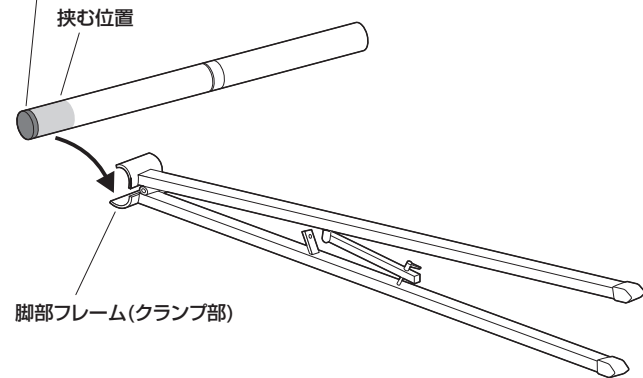


A フレームの内側だけに自転車を掛ける場合

2 スライドバーに脚部フレームを取付けます。

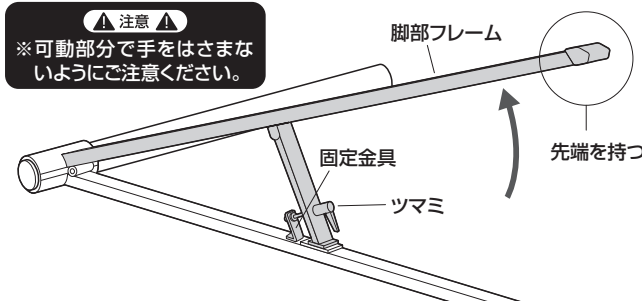
①スライドバーのキャップ側を脚部フレームのクランプ部にのせます。

スライドバー
※黒いキャップは挟まないでください。

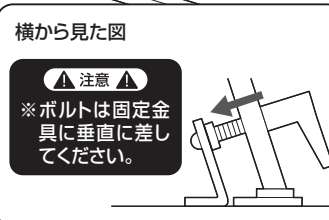


②脚部フレームの先端を持って開き、固定金具とボルトの位置を合せ、ツマミを回して固定します。

▲注意▲
※可動部分で手をはさまないようにご注意ください。



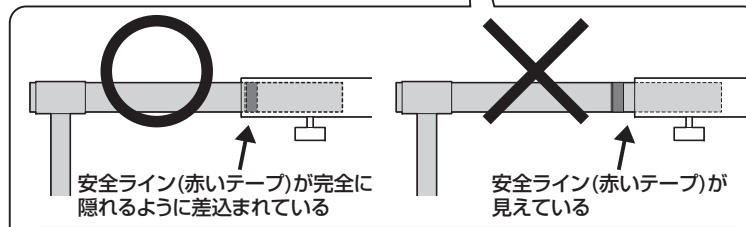
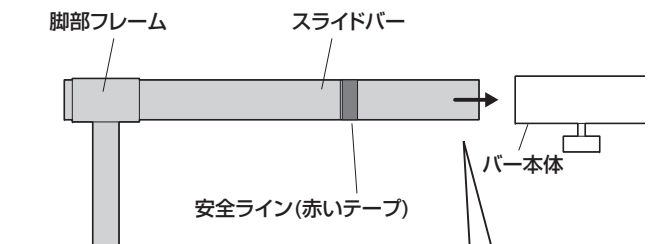
※同様にもう片方の脚部フレームも取付けます。



▲注意▲
※ボルトは固定金具に垂直に差し込んでください。

3 バー本体にスライドバーを差込み、固定します。

任意の長さで固定します。



▲注意▲ ※安全ラインがバー本体から出ない範囲で調節してください。

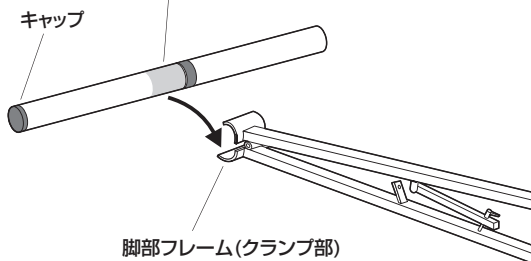
※同様にもう片方のスライドバーも差込みます。

B フレームの外側にも自転車を掛ける場合

2 スライドバーに脚部フレームを取付けます。

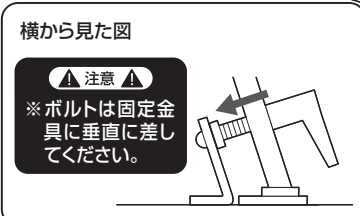
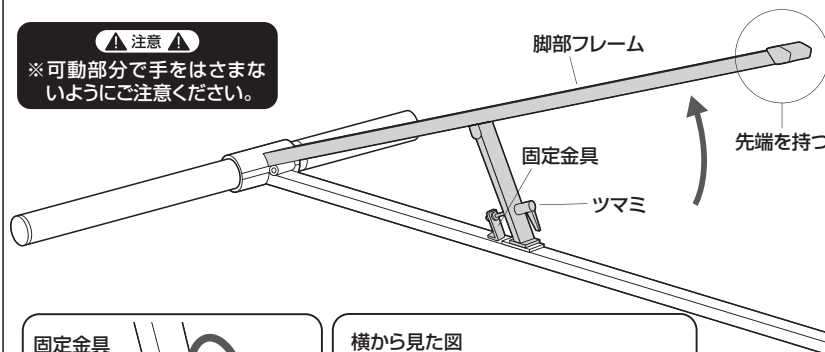
①スライドバーの安全ラインのを脚部フレームのクランプ部にのせます。

スライドバー
 ※安全ライン(赤いテープ)が完全に見えるように挟みます。
 ※安全ライン(赤いテープ)よりもキャップ側を挟みます。



②脚部フレームの先端を持って開き、固定金具とボルトの位置を合せ、ツマミを回して固定します。

▲注意▲
 ※可動部分で手をはさまないようにご注意ください。

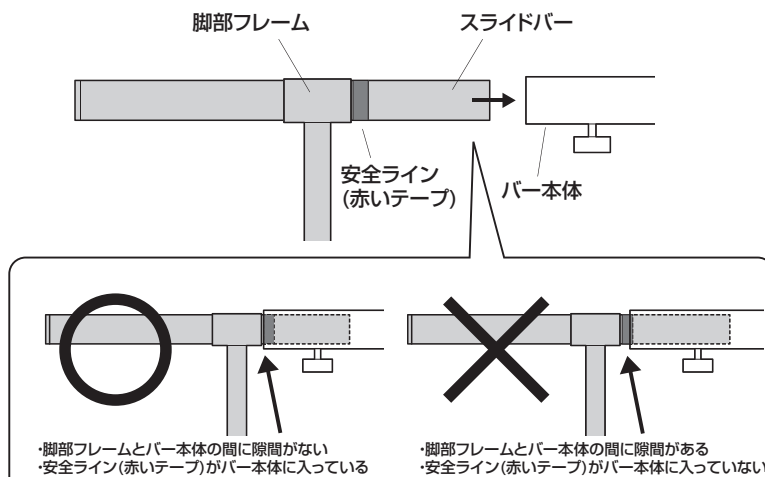


▲注意▲
 ※ボルトは固定金具に垂直に差ししてください。

※同様にもう片方の脚部フレームも取付けます。

3 バー本体にスライドバーを差込み、固定します。

脚部フレームがバー本体にあたるまで差込み、固定します。



・脚部フレームとバー本体の間に隙間がない
 ・安全ライン(赤いテープ)がバー本体に入っている

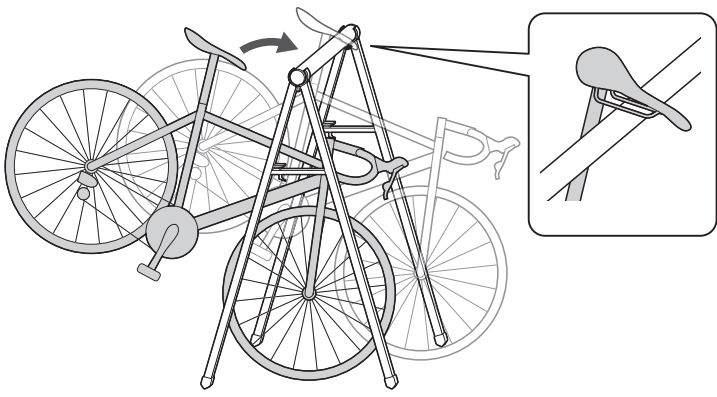
・脚部フレームとバー本体の間に隙間がある
 ・安全ライン(赤いテープ)がバー本体に入っていない

▲注意▲ ※必ず脚部フレームがバー本体にあたるまで差込んでください。

※同様にもう片方のスライドバーも差込みます。

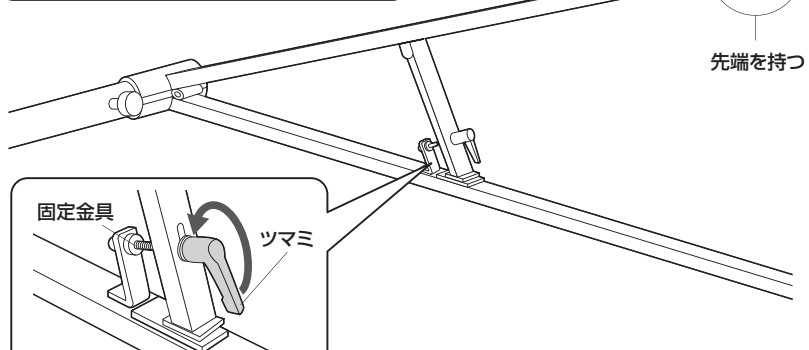
4 自転車スタンドを起し、スタンドが水平に安定しているか確認してから自転車を引っ掛けます。

サドルをバーに引っ掛けます。
 ※普通の大きさの自転車では前輪が地面に付きます。
 ※小さな自転車では前後輪とも浮いた宙づりになることもあります。



分解するときの注意

▲注意▲
 ※分解する際は脚部フレームの先端を持ってツマミを回してください。



ツマミを矢印の方向に回して取外します。

使用上のご注意

- ・通常前輪は地面に付いた状態になりますが、自転車の種類やサイズにより、(BMXなどは)前後輪とも浮いたように吊られる場合があります。
- ・サドルを引っ掛けるタイプのスタンドですので、サドルの裏側がすり切れたり、傷がつく恐れがあります。気になる方は本製品のサドルが当たる箇所に保護用テープなどを貼り付けてください。
- ・スライドバーを挟み込む作業や固定金具に取付ける作業の際は指などを挟まないようにご注意ください。
- ・お子様などが鉄棒のようにぶら下がったり、乗ったりして遊ぶことが絶対にないようにしてください。
- ・屋外で使用するが多いスタンドですが、雨などにさらすとサビの原因になります。濡れた場合はすぐに拭き取ってください。
- ・自転車スタンド以外の用途で利用された場合、不具合が起きてても一切の責任を負いかねます。ご了承ください。
- ・スタンドを組み立てる際は身の回りの安全な場所を十分確保して作業してください。
- ・自転車の種類やサイズによっては5台乗せられない場合があります。